

## 中部支部

支部長 松原貴子

中部支部での今年度の大きな行事は、3年ぶりの対面式となる年次大会の準備・運営でした。

年次大会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に翻弄されながらの準備となりました。中部支部会員および三重県内有志を中心とした30名からなる年次大会実行委員会をたちあげ、2020年7月から本格的に始動しましたが、6回におよぶ委員会をすべてオンライン会議での開催となり、参集できたのは大会前日の打ち合わせと当日の朝になってからでした。互いに顔を合わせての準備ではないことで、進捗状況の共有不足や検討不十分の要因となっているもどかしさを感じたことも度々ありました。本部執行部のみなさんや、大会運営事務局の力添えをもらって中部支部と大会開催地の三重県の実行委員が力を合わせ開催にこぎつけることができました。おかげさまで約2,000名の参加登録があり、会場の三重県総合文化センターへの来場者は二日間で延べ1,588名と活気に溢れた研究会となりました。準備時期からご支援とご協力を頂戴したみなさまに、ご恩返しができただけではないかと想っています。

### 【支部活動報告】

市民公開講座 『もしもの話をもっと身近に一元気な時に始める人生会議ー』

第46回死の臨床研究会年次大会開催に合わせて、11月27日（日）三重県総合文化センターにて市民公開講座を開催しました。コロナ感染症状況に対応するため、①現地開催 三重県総合文化センター大ホール ②三重県内7か所のサテライト会場開催 ③ライブ配信（研究会年次大会参加登録者が視聴）の3通りで開催し、一般市民に加え、行政関係、医療・福祉・介護関係者など様々な分野から参加があり、①現地会場 124名 ②サテライト会場 147名 ③ライブ配信 256名の内訳でした。

担当世話人：辻川 真弓（鈴鹿医療科学大学看護学部）

日 時：2022年11月27日（日）13：50－15：50

プログラム：

座長：中橋 恒氏（松山ベテル病院）

辻川 真弓氏（鈴鹿医療科学大学看護学部）

第1部 講演「元気な頃から人生会議～本人と家族、人生会議の進め方～」

講師：西川満則氏（国立長寿研究医療センター 緩和ケア診療部医長）  
大城京子氏（居宅介護支援事業所 快護相談所和び咲び副所長 主任介護支援専門員）

第 2 部 動画上映「これから人生会議を始める人に私たちが伝えたいこと」

第 1 話：母と私の人生会議～父の看取りの経験をふまえて～

小林美香子氏（伊勢赤十字病院研修センター看護師）

第 2 話：最期の望みを叶えた忘れられない患者さん

岡田まり氏（訪問看護ステーションほたるいせ 訪問看護師）

辻村恭江氏（伊勢赤十字病院 緩和ケア内科）

第 3 話：もしもの話は難しい～心臓病と脳卒中の場合～

中村可奈氏（元・三重ハートセンター 看護師）

菊川栄子氏（藤田医科大学七栗記念病院地域連携室 看護師）

辻川真弓氏

第 3 部 総合討論 講師と動画出演者、座長を含めての討論

開催概要：

一人の人間として「人生の最終段階を自分のこととして考える」ことは、様々な困難をともなうが、死の臨床研究会年次大会の開催という特別な機会を「地域住民の方が『人生会議』の大切さや重要性を知る機会」とし、大切な人の思いをキャッチしたり、つなぐことが大切であることに気づけるようなわかりやすい内容となりました。

【入会のご案内】

中部支部では、随時新規会員を受け付けております。下記の事務局連絡先に、中部支部入会とし、お名前と連絡住所をメールもしくは FAX してください。追って、申込用紙を返信いたします。

中部支部入会金：1000 円 中部支部年会費：1000 円

【中部支部事務局】

〒504-8601

岐阜県各務原市蘇原東島町 4 丁目 6-2

公立学校共済組合東海中央病院

TEL；058-382-3101

FAX；058-382-1762

E-mail； miho.sawai@tokaihp.jp

担当者：澤井美穂